

事故を起こして6年目の東京電力へ

2017. 3. 11

原発いらない福島の人たち

あれから6年。一口に言うのはとてもたやすい。東京電力福島原発事故当時の社長は清水氏、そして今は廣瀬氏と変わったが、依然として東電の体質は変わっていない。東電は責任も取らず、政府も罪の意識がないからか裁判も開かれていない。

今、フクイチでは遅々とした廃炉作業に汚染水や被曝労働問題等が矢継ぎ早に進行中だ。更に原発から出た使用済み燃料や汚染物質の処理方法も定まっていはいない。健康被害は福島から東日本全体に広がり続けている。また最近の経産省発表には驚く。福島原発賠償費用と称して7.9兆円もの試算を出した。本来は東電が負担すべき賠償費用なのだが、一世帯一年に約千円を負担するようになるらしいが、福島県民始め国民をここまでバカにするのはもう止めてほしい。柏崎刈羽原発の再稼働なんては愚の骨頂だ、絶対に許されない。

この6年間、私たちはしゃにむに突っ走って来た。これからのながい闘いに視点を合わせて、本来の自分らしさを取り戻しつつ、あきらめずにフクシマを訴え続けたいと思う。

今日、私たちは福島市で「第6回 原発いらない地球（いのち）の集い」を開催中です。

共に頑張りましょう。